



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月29日

上場会社名 株式会社エスティック

上場取引所

東

コード番号 6161

URL <https://www.estic.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 鈴木 弘英

問合せ先責任者(役職名) 執行役員 管理部部長

(氏名) 前田 洋二

TEL 06-6993-8855

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年3月21日～2026年6月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	1,808	16.6	414	136.3	428	111.3	269	105.2
2026年3月期第1四半期	1,551	21.7	175	6.8	202	26.9	131	35.1

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 392百万円(2,344.1%) 2026年3月期第1四半期 16百万円(△92.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	27.03	—
2026年3月期第1四半期	13.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	12,961	11,608	87.7
2026年3月期	12,761	11,503	88.4

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 11,372百万円 2026年3月期 11,277百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	29.00	29.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	31.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年3月21日～2027年3月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,100	17.0	741	27.9	760	27.4	525	31.1	52.69
通期	8,602	7.1	1,707	8.4	1,742	5.0	1,219	4.8	122.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2027年3月期1Q	11,768,000株	2026年3月期	11,768,000株
2027年3月期1Q	1,800,135株	2026年3月期	1,800,135株
2027年3月期1Q	9,967,865株	2026年3月期1Q	9,957,865株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

① 国内市場

市場環境	当第1四半期連結会計期間における日本経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いたものの、物価上昇や長期金利の上昇に加え、中東情勢の緊迫化による調達リスクなど不透明感が企業活動に影響を及ぼしました。企業の設備投資は、省人化・自動化やデジタル化関連を中心に底堅く推移する一方、先行き不透明感から投資判断には慎重な姿勢も見られました。 当社の主力販売先である自動車産業では、電動化や車両の高度化に向けた研究開発投資は継続する一方、EV市場の成長鈍化などを背景に、設備投資については収益性を重視した選別的な姿勢でしたが、生産効率向上や品質高度化、省人化への投資需要は堅調でした。
販売状況	ナットランナ 既存設備の更新需要は底堅く推移したものの、自動車メーカー（OEM）を中心とした設備投資判断の慎重化を背景に、売上高は前年同四半期をやや下回りました。 ハンドナットランナ 設備投資市場が軟調に推移したものの、既存ユーザーを中心とした販売に支えられ、売上高は前年同四半期並みの水準で推移しました。 ネジ締付装置 国内自動車メーカーを中心に大型設備投資案件の延期や見直しが継続したことに加え、一部海外向け大型案件の減少もあり、売上高は前年同四半期を下回りました。特にEV市場の成長鈍化を受けた投資計画の見直しが影響し、大型案件の売上計上が減少しました。
利益状況	大型装置案件の減少により売上高は前年同四半期を下回ったものの、標準品比率の上昇やユニット案件を中心とした原価率の改善により収益性が向上し、減収の影響を一定程度吸収しました。

② 米国市場

市場環境	米国経済は、堅調な雇用環境や個人消費に支えられ底堅く推移したものの、中東情勢によるガソリン高騰、インフレ再燃などの不透明感を背景に、企業の設備投資には慎重な姿勢が見られました。一方で、製造業の国内回帰やサプライチェーン強靱化に向けた投資は引き続き進展しております。 当社の主力販売先である自動車産業では、政策不確実性・高ガソリン価格によりEV関連投資が減速しましたが、代わりにハイブリッド（HV）車や富裕層向けの需要が市場を支えました。また、EVは停滞、HVは急伸という二極化を背景に、各OEMの生産戦略は北米生産回帰が進み、それに伴い設備投資は後半に向けても堅調に推移する見通しです。
販売状況	製造業の国内回帰や現地生産体制強化を背景とした設備投資が継続するとともに、既存大口ユーザー向け販売が堅調に推移しました。また、顧客の多様化による販売も底堅く推移したことから、ハンドナットランナを中心に販売が伸長し、売上高は前年同四半期を上回りました。
利益状況	ハンドナットランナを中心に売上高が前年同四半期を上回ったことに加え、売上構成も安定的に推移したことから、利益は前年同四半期を上回りました。

③ 中国市場

市場環境	中国経済は、政府による景気刺激策が継続されたものの、不動産市場の低迷や個人消費の伸び悩みを背景に、景気回復は力強さを欠く状況が続きました。また、輸出は堅調に推移したものの、外部環境の変化による影響もあり、先行き不透明な状況が続いております。 当社の主力販売先である自動車産業では、政策効果（税制優遇措置）の削減により需要の低迷があったものの、輸出需要は急速に伸長しており、設備投資については選別色が強まりました。輸出需要の増大により、欧州、東南アジア、中南米では存在感が上昇していますが、国内市場では、競争激化による利益率低下、需要の低迷といった課題も継続しており、投資判断には慎重な姿勢が見られております。
販売状況	中国では、新エネルギー車（NEV）市場における価格競争の激化や主要EVメーカーの投資判断の慎重化を背景に、設備投資需要は弱含みで推移しました。当社においても、大手EVメーカー向け販売が前年を下回ったことから、売上高は前年同四半期を下回りました。一方で、駐在員を増加して、ユーザー多様化の取組も強化しており、第2四半期以降の受注・売上回復に向けた拡販活動を継続しております。
利益状況	主要EVメーカー向け販売の減少により売上高は前年同四半期を下回り、利益面においても厳しい状況で推移しました。一方で、収益性を重視した営業活動やコスト管理を継続し、収益改善に努めました。

④ その他の市場

販売状況	アジア地域では、インドを中心とした自動車関連設備投資が引き続き堅調に推移したほか、タイや韓国においても販売が増加し、前年同四半期を上回りました。 欧州地域では、EV一辺倒から、HV回帰の動きが鮮明で、欧米OEM向け大型案件の売上計上により前年同四半期を上回りました。欧米各OEMでは大規模リストラや地政学リスクといった不確定要素もありますが、足元では設備投資環境に緩やかな改善の兆しも見られております。
------	---

当第1四半期連結累計期間の売上状況は、上記の市場環境により、ハンドナットランナ、修理点検において前年同期比増収となり、売上高1,808百万円(前年同四半期比16.6%増)となりました。

利益状況は、ハンドナットランナの増収に加え、ネジ締付装置の減収により標準品比率が高まったことから、営業利益414百万円(前年同四半期比136.3%増)、売上高営業利益率22.9%(前年同四半期は11.3%)、経常利益428百万円(前年同四半期比111.3%増)、売上高経常利益率23.7%(前年同四半期は13.1%)、親会社株主に帰属する四半期純利益269百万円(前年同四半期比105.2%増)となりました。

地域別売上においては、海外市場でハンドナットランナの売上高が増加したことを受け、海外売上高1,402百万円(前年同四半期比34.9%増)、国内売上高406百万円(前年同四半期比20.6%減)、売上全体に占める海外売上比率は77.5%(前年同四半期は67.0%)、国内売上比率は22.5%(前年同四半期は33.0%)となりました。

なお、当社製品は、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具でありますので、単一セグメントとして市場環境を判断しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産は、12,961百万円と前連結会計年度末比200百万円の増加となりました。増減の主な内訳は、仕掛品が223百万円、有形固定資産が260百万円増加した一方、売掛金が287百万円減少したためであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、1,353百万円と前連結会計年度末比95百万円の増加となりました。増減の主な内訳は、未払費用が128百万円増加した一方、賞与引当金が60百万円減少したためであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、11,608百万円と前連結会計年度末比104百万円の増加となりました。増減の主な内訳は、為替換算調整勘定が113百万円増加した一方、利益剰余金が19百万円減少したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想につきましては、現時点では2026年4月28日に発表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,733,056	2,738,835
受取手形	1,784	3,929
売掛金	2,242,657	1,954,759
電子記録債権	597,102	508,220
商品及び製品	738,613	739,172
仕掛品	367,957	591,582
原材料及び貯蔵品	1,450,228	1,480,298
その他	177,798	225,009
貸倒引当金	△2,414	△2,686
流動資産合計	8,306,784	8,239,121
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,255,501	1,240,155
土地	1,071,534	1,071,534
その他（純額）	1,108,758	1,384,961
有形固定資産合計	3,435,794	3,696,651
無形固定資産	25,469	23,447
投資その他の資産		
繰延税金資産	222,163	214,127
その他	772,283	789,165
貸倒引当金	△800	△800
投資その他の資産合計	993,646	1,002,493
固定資産合計	4,454,911	4,722,592
資産合計	12,761,695	12,961,714

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	253,506	303,884
未払法人税等	152,461	108,718
賞与引当金	128,885	68,865
製品保証引当金	74,000	71,000
受注損失引当金	5,372	19,092
その他	328,423	497,756
流動負債合計	942,647	1,069,317
固定負債		
退職給付に係る負債	250,337	255,287
その他	64,837	28,631
固定負債合計	315,174	283,919
負債合計	1,257,822	1,353,236
純資産の部		
株主資本		
資本金	557,000	557,000
資本剰余金	652,704	653,466
利益剰余金	11,017,763	10,998,141
自己株式	△1,420,092	△1,420,092
株主資本合計	10,807,375	10,788,515
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,731	46,941
為替換算調整勘定	424,214	537,536
その他の包括利益累計額合計	469,946	584,478
非支配株主持分	226,551	235,484
純資産合計	11,503,873	11,608,477
負債純資産合計	12,761,695	12,961,714

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月21日 至 2025年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月21日 至 2026年6月20日)
売上高	1,551,715	1,808,991
売上原価	859,611	851,388
売上総利益	692,104	957,603
販売費及び一般管理費	516,845	543,523
営業利益	175,258	414,079
営業外収益		
受取利息	3,768	2,350
受取配当金	2,290	1,857
受取保険金	11,187	—
為替差益	—	8,276
持分法による投資利益	11,969	380
その他	4,043	1,307
営業外収益合計	33,259	14,172
営業外費用		
為替差損	5,747	—
賃貸収入原価	133	133
その他	—	0
営業外費用合計	5,881	133
経常利益	202,636	428,118
税金等調整前四半期純利益	202,636	428,118
法人税等	62,569	146,294
四半期純利益	140,066	281,823
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,768	12,377
親会社株主に帰属する四半期純利益	131,297	269,445

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月21日 至 2025年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月21日 至 2026年6月20日)
四半期純利益	140,066	281,823
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,978	1,210
為替換算調整勘定	△97,438	31,255
持分法適用会社に対する持分相当額	△16,573	78,622
その他の包括利益合計	△123,990	111,087
四半期包括利益	16,075	392,910
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,409	383,977
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,334	8,933

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具の製造・販売及び当社製品の修理・点検を主な事業とする単一セグメントで事業活動を展開しているため、セグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月21日 至 2025年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月21日 至 2026年6月20日)
減価償却費	33,915千円	33,765千円